

環境学委員会・地球惑星科学委員会合同  
FE・WCRP 合同分科会 CliC 小委員会（第 26 期・第 1 回）  
議事要旨

日時：令和 6 年 6 月 24 日（月）12:00～13:20

場所：オンライン会議

参加委員（五十音順・敬称略）：阿部 彩子、飯島 慈裕、伊勢 武史、榎本 浩之、大藪 幾美、紺屋 恵子、斉藤 和之、坂井 亜規子、杉浦 幸之助、杉山 慎、竹内 望、奈良間 千之、庭野 匡思、羽角 博康、檜山 哲哉、堀 雅裕

欠席：深町 康

●定足数確認

委員 17 名のうち、16 名の出席で定足数が満たされていることが報告された。

議題：

本会の議題について、飯島委員（選出後は委員長）から説明があり、議論がなされた。

1. 小委員会役員（委員長・幹事）の選出と承認

出席委員の自己紹介の後、第 26 期の委員長として、飯島委員が着任することで承認された。第 26 期の幹事として、飯島委員長からの推薦により、第 25 期からの継続となる竹内委員、新規に庭野委員が着任することが承認された。

2. 議事要旨の提出に関する委員長一任について

議事要旨（議事録）の提出について、メールによる委員間での確認・修正の後に、委員長に一任されることが承認された。

3. 小委員会委員間のメールアドレス共有について

小委員会委員間のメールアドレス共有について、飯島委員長から提案され、承認された。

4. CliC の活動報告

CliC の沿革と最近の動向について、杉山委員から説明がなされた。

5. 関係学術組織の動向

海外および国内の関連学術組織の動向として、各委員から情報提供がなされた。

- ・ 斉藤委員から、永久凍土関連の国際的な研究動向について報告がなされた。
- ・ 坂井委員から、氷河のモデル比較研究（GlacierMIP）の活動について報告がなされた。

- ・庭野委員から、氷床質量収支モデル、積雪モデルおよび関連する大気モデルに関する情報について報告がなされた。

- ・竹内委員から、IASC CWG の活動について報告がなされた。

- ・榎本委員から、雪氷圏、北極圏の国際研究関連の活動の動向について報告がなされた。

IPCC AR7 に向けた今後の流れや、フランスからの呼びかけによって 2023 年 10 月にパリで開催された両極と高山域などの雪氷圏に関する会合 One Planet – Cryosphere Summit などが紹介された。

#### 6. 日本学術委員会・他小委員会の動向

飯島委員長から、日本学術委員会分科会・他小委員会の動向について報告がなされた。

#### 7. 第 25 期を踏まえた第 26 期の CliC 小委員会の活動方針について

今後の小委員会の活動について確認、検討を行った

CliC の動向をフォローするために、日本から SSG 委員をだすことが望ましい、という提案がなされた。

#### 8. その他

特になし

以上